

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福島県

行事名称	文化財防火訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年1月26日（日）午前10時10分～11時10分
実施場所	重要文化財 旧伊達郡役所（福島県伊達郡桑折町字陣屋12番地）
主催者	桑折町、桑折町教育委員会、桑折町消防団

■実施内容

訓練の想定

旧伊達郡役所2階より不審火（煙）が発生、館内には見学者がいる状況を想定。

訓練の内容

桑折町文化記念館職員による火災発見、通報、初期消火（水消火器による消火訓練）及び見学者の避難誘導を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。桑折町文化財保存会員は軽可搬ポンプによる放水訓練、女性防火クラブ員及び一般町民は水消火器による消火訓練を実施。

参加者及び役割分担

桑折町文化記念館職員（4名）：119番通報、初期消火、見学者の避難誘導

桑折町消防団（72名）：訓練統括、放水訓練、交通整理、女性消防団員による訓練前広報

伊達地方消防組合（8名）：放水訓練、消火器取扱指導、交通整理

福島北警察署桑折分庁舎（2名）：交通安全指導、交通整理

桑折町女性防火クラブ（10名）：消火訓練体験

桑折町文化財保護審議会（6名）：訓練立会い

桑折町文化財保存会（5名）：放水訓練体験

町議会議員、地元住民（34名）：立会い、消火訓練体験

桑折町職員（9名）：本部統括、記録、庶務

特に工夫した点

消防署・消防団到着の前に行う初期消火が重要と考え、非常時の際の役割分担や、機械操作手順の確認などを入念に行った。軽可搬ポンプによる放水訓練や水消火器による消火訓練には地元住民も多数参加し、文化財はもちろんのこと、各家庭における防災・防火に関する意識も高めた。

問題点・課題

訓練当日は晴天に恵まれ、積雪も無く、良い状態で訓練ができた。しかし、積雪が多い場合には建物とその周辺、道路などの除雪が必要であり、積雪時であっても消火活動を迅速に行うことができる状態を維持することが課題である。

その他

文化財防火デーに合わせて町のシンボルとなっている旧伊達郡役所で訓練を行うことで、消防団員にとっては日頃の訓練の成果を地域住民に披露する場となっている。地域住民に対しても広く防災・防火の意識を高める良い機会と考えている。

訓練風景



消防団員・消防署員による放水訓練



消防団員の指導による軽可搬ポンプの放水訓練